



富士市水防団の皆さん
(静岡県・富士市総合防災訓練)



積み土のう工法 (静岡県・富士市総合防災訓練)



市長・団長巡閲 (富士市水防訓練)



川倉工法 (富士市水防訓練)



潤井川右岸の見回り

水害から市民の命と財産を守る 富士市水防団結成二十五周年

富士市水防団では、現在十水防分団、五百三十五人の団員が富士市の水防活動を行っています。
その富士市水防団が、ことし結成二十五周年を迎え、十二月十二日(日)にロゼシアター中ホールで記念式典が行われます。
これを機に、皆さんも一緒に富士市水防団の歩みを振り返るとともに、水防団の役割について見つめ直してみませんか。

富士市水防団の歩みと 水害のつめ跡

明治二十二年 岩松村・加島村・田子浦村の三か村で水防組を組織する(富士川左岸)。
大正二年 富士川左岸水防組を発足。
大正六年 静岡県会第三十号により水防組設置規程が定められる。
潤井川右岸(加島村内の蓼原・五味島・本市場新田・松本・中島の五区) 水防組発足。
潤井川左岸(伝法村) 水防組発足。
昭和二十四年 法律第九十三号により水防法公布。

昭和四十一年 台風二十六号(死者十五人、行方不明者一人、負傷者百三十四人)。

昭和四十二年 条例三十八号により「富士市水防団条例」を公布。条例の施行により、水防組が水防団と名称を変える。
須津・吉永・田子浦水防団発足。

昭和四十九年五月一日 富士市連合水防団発足

昭和四十九年 七夕豪雨(死者一人)。

昭和五十一年 豪雨(負傷者四人)。

昭和五十三年

浮島水防分団発足。

昭和五十四年

台風二十号(行方不明者二人、負傷者二人)。

昭和五十五年

原田水防分団発足。

富士市連合水防団が富士市水防団と名称変更。

昭和五十七年

元吉原・鷹岡水防分団発足。



昭和54年 台風20号による被害 天間沢川

水防団はこんな活動をしています

水防団の団員は、町内会（区）長から推薦を受けて団長より任命され、みずからの職業を持ちながら次のような活動をしています。

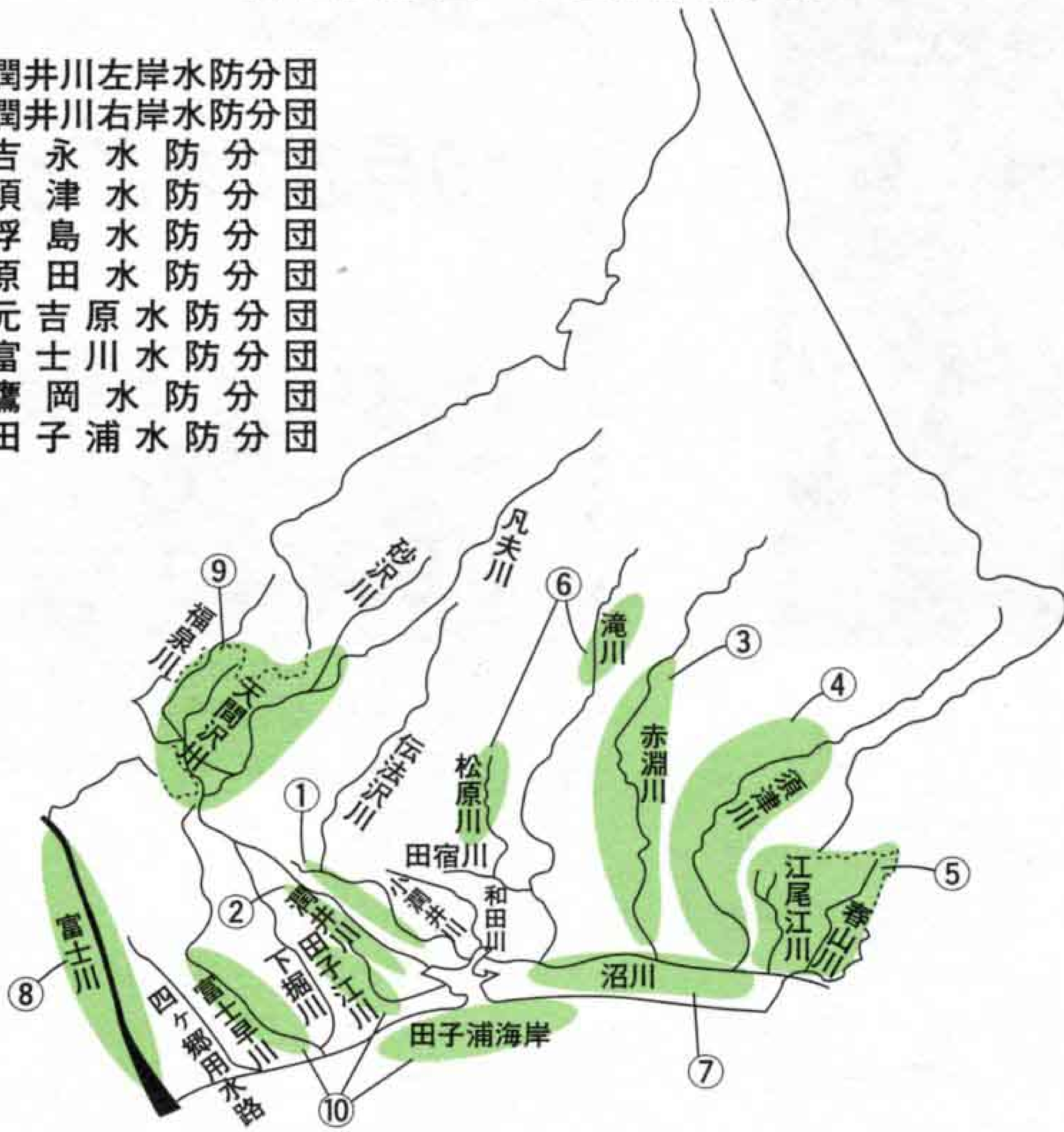
◎大雨警報が発令されると、市から連絡網で各分団長に伝達され、各団員が河川流域の見回りをしたり、水防工法を行ったりします。
◎分団長以上が集まる水防団会議を二か月に一回ほど開催し、情報交換などを行っています。

◎富士市水防訓練や総合防災訓練、富士川水防訓練、津波避難訓練などに参加し、次の水防工法の訓練を行っています。

・土のうづくり、積み土のう工法（越水防止）
・木流し工法（洗掘防止）
・川倉工法（決壊・崩壊防止）
・シート張り工法、月の輪工法、畳張り工法（漏水防止）
・五徳縫い工法（亀裂防止）
◎静岡県から委託されて田子の浦港陸間（海水をとめる門）の管理をしています。

<各水防分団の担当河川流域>

- ① 潤井川左岸水防分団
- ② 潤井川右岸水防分団
- ③ 吉永水防分団
- ④ 須津水防分団
- ⑤ 浮島水防分団
- ⑥ 原田水防分団
- ⑦ 元吉原水防分団
- ⑧ 富士川水防分団
- ⑨ 鷹岡水防分団
- ⑩ 田子浦水防分団



市民の皆さんと一体となった水防活動の推進を目指して

歴史が古い富士市水防団

水防団単独の組織は、県内では富士市を含めて四市にしかありません。ほかの市町村は、消防団が水防の役割を兼務しています。富士市では富士川や潤井川が過去に何度かははんらんしていたため、水防に力を入れているのです。

富士市水防団の歴史は古く、明治二十二年には水防組織が発足し、昭和四十九年には富士市水防団の前身となる富士市連合水防団が発足しました。これまで、台風や集中豪雨の際に、水防活動を行ってきました。私自身としては、特に昭和四十九年の七夕豪雨の際に出動して、積み土のうや木流し工法を行ったことを思い出しますね。



富士市水防団団長

時田長夫さん（五味島）

いつでも出動できる準備を

全国各地では、人命にかかわる大きな水害が毎年のように起きています。近年、富士市では幸いにも大きな水害は免れていますが、都市化が進んだため、局地的な大雨などで河川や水路があふれるということが、年に数回あります。

災害は忘れたころにやってくると言います。水防団は、いざというときに備え、水防訓練などに参加し、団員の水防技術の向上と士気の高揚を図っています。

水防団のことを

多くの人に知ってほしい

水防団員は大雨の際などには、自分と家族の危険をも顧みず、市民の皆さんの生命と財産を守っていく大切な役割を担っています。しかし、水防団は河川に隣接した地域の住民以外にはあまり知られていません。また、団員の高齢化や後継者不足という問題も抱えています。ですから、この二十五周年を機に、多くの人に水防団のことを知っていただきたいと思えます。その結果として、若手団員もふえたらいいですね。

これからも、富士市水防団は、市民が安心して暮らせるまちづくりを進めるため、市民の皆さんと一体となって、水防活動を行っていきます。